

社会福祉法人 平野の里

事業報告書

令和3年度

社会福祉法人 平野の里

2022/04/01



目次

各事業報告	5
共同生活援助 グループホームあやめ	5
埼玉北障害者生活支援センターひらの(相談支援事業)	6
埼玉北基幹相談支援センタートロン	10
生活介護 障害者支援施設あやめ寮	11
個別活動報告	12
りさいくるG	12
ふあくとりーG	13
がーでんG	13
すまいるG	14
くりーんG	14
虐待防止・権利擁護委員会(ハッピーハンド)	15
防災委員会	16
事故・ひやり委員会	18
医務食事委員会	19
医務看護部門	19
食事部門	21
生活支援委員会	23
衛生委員会	25
イベント委員会	25
あやめ協力会	26
実習生・ボランティア	27
短期・日中一時	29
保護者会	30
施設整備委員会	31
地域貢献PJT	32
あやめ寮建築PJT	33
車輛	33
広報委員会	33
ホームページ	34
職場研修	35
令和3年度 主な研修参加実績	36
採用活動	38
会社説明会実施後のアンケート結果	40

令和3年度を振り返って

社会福祉法人平野の里
施設長 大澤 まさ江
地域施設長 柿沼 隆史
令和4年4月現在

令和3年度は近年の生活から見て未曾有と言えるコロナ禍の恐怖の日々を過ごしました。年度末にはロシアウクライナ戦争でも沢山の犠牲者がでました。この間に多くの学びもありました。他国も含め国や各行政は人の命に関わることに躊躇なく自分の仕事外は連携なく淡々としていて、関係性の複雑さがわかりました。コロナ禍において少なくとも見てくれなかった現場の仕事の在り方が理解された部分はお互いに良かったと思います。日本の行政と現場関係においてもいまだ強弱体制が残っていることに教育不足を感じましたが、大きな学びは、我が身は自分で守る・我が施設は職員の方で利用者様を守ることです。

・コロナ禍での利用者様の生活の楽しみである各行事・余暇の在り方の工夫能力発揮は大きかったと思います。

・コロナ発症者を出さないを目標に日々の対策に力を尽くした年です。

・相談支援事業所ひらのは地域貢献として対象となる方に大変丁寧に対応し、仕事量は増えています。

・こども食堂もコロナ恐怖はありましたが、お弁当式で毎回30食以上お渡しできました。あやめ寮の野菜含めご寄付品などもお配りしました。

・グループホームの職員とは常に連携をとり利用者様の状況把握を行いました。

・改修工事は事故なく無事終わりましたが、水回り工事の緊急性にひやりとしました。工事後は利用者様の介助がしやすい設備になりました。

・新型コロナは2月に市町の接種券のトラブルあり困惑ありつつも3回目のワクチン接種を終了し、発症者は出ずに生活出来ています。高齢者も多いので心配ですが重症化のリスクを少なくしたいです。市町とのやり取りは職員の交渉力が素晴らしかったです。

・4回目ワクチンの在り方は準備よく行政指導がある事願い従います。

・職員のコミュニケーションの場を沢山設けていた施設ですが、昨年度は少なく問題化して令和4年度は小人数で毎月の行事を行い、反省会の実施・リモートでの県外地の施設研修実施しなど行います。

◎これからも職員のモチベーションをあげ職員関係を第一に利用者様主体の支援力を上げて専門性を高めていきます。

設置運営主体

社会福祉法人 平野の里

事業種別及び定員

①障害者支援施設 あやめ寮

開所年月日 昭和63年3月1日

主なサービスと定員

入所支援 定員50名

生活介護 定員75名

短期入所 定員 2名

(併設型)

日中一時支援

②グループホームあやめ

●GH あやめ：定員4名

●あやめ壱番館：定員10名

●あやめ弐番館：定員10名

●幸手宿：定員3名

③障害者生活支援センター ひらの

私共、社会福祉法人平野の里は、平成30年3月30日付で、「シニア活躍推進宣言企業」に次いで「多様な働き方実践企業」に認定されました。埼玉県が実施している、女性の力で埼玉経済を元気にする「ウーマノミクス プロジェクト」の取組みの一つに「多様な働き方実践企業」認定制度があります。短時間勤務やフレックスタイムなど多様な働き方を実践している企業を埼玉県が認定するものです。

当法人は、職員個々のニーズに即した働き方を進めながらイキイキと働ける職場でありたいと思っておりますが、今回の認定区分では「ゴールド」と評価されました。

(すべて該当＝プラチナ、4つ以上該当＝ゴールド、2つ以上該当＝シルバー)

これを機に、女性にとっても男性にとっても、シニアにとっても働きやすい環境づくりを促進し、法人の発展を目指してまいります。

また、女性の活躍推進・ハラスメント対策など労働施策にアンテナを張り、事業規模にとらわれずに取組推進を図り、より良い職場づくりに邁進してまいります。



各事業報告

生活介護・施設入所

●定員 50 名

障害者支援施設あやめ寮利用者障害支援区分分布								
区分	6	5	4	3	2	1	重度	計
男性	17名	11名	4名				17名	32名
女性	15名	2名	2名				12名	18名
SS	1名							1名
合計	28名	19名	4名				22名	51名

※生活介護通所利用者 23名 (2022年3月31日現在)

平均年齢 50.1歳 平均支援区分 5.5 (2022年3月31日現在)

共同生活援助 グループホームあやめ

グループホーム事業利用者障害支援区分分布								
区分	6	5	4	3	2	1	無	計
GH あやめ			1名	1名			2名	4名
壱番館	3名	5名	1名					9名
弐番館	3名	5名	2名					10名
幸手宿	1名		1名	1名				3名
4ホーム計	7名	10名	5名	2名	0名		2名	26名

平均年齢 53.8歳 平均支援区分 4.91 (2022年3月31日現在)

主な活動

4月1日 あやめ壱番館9年目、あやめ弐番館7年目スタート。弐番館の上高野大蔵地区自治会内、新型コロナ感染予防も兼ね、全自治会事業における活動が休止となる。

8月1日 4 グループホームあやめ幸手宿2年目スタート。

2月1日グループホームあやめ14年目スタート。

壱番館と弐番館を活用し、生活介護を実施。また、それぞれに季節に応じた余暇活動なども行う。

モニタリングや次年度個別支援計画面談実施せず郵送にてご案内となる。

帰省は今年度1度も実施せず。面会も感染情勢も鑑み数回は仕切りを構え実施しましたが、年度後半はリモートによる面会を実施しております。

活動実績

GH あやめ・あやめ弐番館大家：増田様稲葉様、GH あやめ、壱番館、弐番館近所近隣、就労支援センター、他関係機関へのお中元、お歳暮の贈答の経過対応を図っております。

散髪：壱番館貳番館利用者：ヴァーサスさんシャガールさん利活用にて経過。 消防訓練とともに、水害訓練として2次避難先への移動訓練をしています。

課題

新型コロナウイルス感染拡大予防に伴う、生活介護活動の実践を途中、方法を工夫しながらも経過対応を図ってまいりました。法人全体における動静や利用者様の推移も鑑み、共同生活援助事業形態の再検討～現在介護サービス包括型であるが、日中サービス支援型にシフトを変えていくことも視野におきつつ展開を図っていければと見据えております。

埼葛北障害者生活支援センターひらの（相談支援事業）

はじめに

コロナ禍の中、法人の母体が入所施設を運営しており、感染予防を最大限に行っている中、相談支援事業の職員が感染リスクが高いため、利用者との日常的な接触しない状況作り業務を行ってきた。

通常行えていた面談・訪問等や会議等においても郵送・電話連絡やリモート等の方法を取りながら対応出来る工夫をしてきた。

【振り返り・評価】

(1) 埼葛北地区地域自立支援協議会での業務について。

行政連携のもと社会資源の開発や地域課題の抽出、その課題解決のための仕組み作りなど、いわば共生社会を目指し各会議・部会に参加してきた。

その一端を担う生活支援部会では、チームリーダーの立場で事業計画の立案や運営をしてきた。

- (1) 年間にわたり4事例を通じて、地域アセスメントを掘り下げ地域の課題・抽出を行った。また、地域の（困難）事例を顕在化して相談支援につなげていかれるように地域の先端で業務にあたる民生委員児童委員の不可欠であることを認識し、幸手市民児協との勉強会を実施し連携の機会に努めた。次年度は、各市町障がい福祉計画・障がい児福祉計画が更新時期にあたる。この計画の推進にも自立支援協議会との連携・協調が位置付けられている。
- (2) 一般相談支援事業・福祉に関する相談 ・地域相談支援（①地域移行支援 ②地域定着支援）・埼葛北地区地域自立支援協議会との協同・連携等※別途参照（令和3年度の実績報告書：3種類）
- (3) 相談支援の専門職である資質の向上につなげられるよう相談支援事業所で定期的な会議に開催してきた。

支援困難ケースの指標作り（①福祉サービスにつながりにくい②キーパーソンがない③経済的困窮世帯④本人の支援拒否⑤世帯支援（保護者の養育力の低さや保護者も障がいがある等）の作成や担当職員が抱え込むことのないよう

に、適宜、事例検討会を行う等の対応を行った。まだ、決して十分と言えるまでの事業所の力を持つには至っていない。委託業務を信用されるように事業所としてのチームワーク作りが必須であることを自覚する。

(4) 指定特定支援事業所について。

主な業務

サービス等利用計画の作成（障害者、障害児）

- ① 既存及び新規
- ② 継続サービス利用（モニタリング）の実施
- ③ 社会資源を活用するための支援
- ④ 権利擁護のための必要な支援
- ⑤ 福祉サービスの利用援助

次年度、障害福祉サービス等報酬改定内容を共有し、潤いのある報酬の増加も視野に入れた業務を行っていく。そのためにも自主的な運営を目指し、対価としての報酬を受けられるように努める。

※別途参照（利用支援提供件数一覧表）

相談支援実施内容(ピアカウンセラーによる支援は()書きで再掲する)2021/4/1-2022/3/31							
支 援(相 談) 内 容	蓮田市	幸手市	白岡市	宮代町	杉戸町	以外 市町	合 計
福祉サービス等の利用等に関する支援	26	1446	1	67	519	20	2079
障害や病状の理解に関する支援	15	801	0	50	364	8	1238
健康・医療に関する支援	8	803	1	56	289	2	1159
不安の解消・情緒安定に関する支援	13	998	0	43	395	10	1459
保育・教育に関する支援	0	74	1	0	43	5	123
家族関係・人間関係に関する支援	11	996	0	33	288	7	1335
家計・経済に関する支援	3	318	0	31	93	0	445
生活技術に関する支援	5	489	0	29	198	2	723
就労に関する相談	0	159	1	4	156	7	327
社会参加・余暇活動に関する支援	2	45	0	4	27	0	78
権利擁護に関する支援	2	139	0	0	78	5	224

市町名	障害者 障害児	2月末現在登録者数		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		今年度延登録者数	
		登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計		
蓮田市	障害者	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幸手市	障害者	84	3	87	1	88	2	90	1	91	1	92	0	92	4	96	0	96	1	97	0	97	0	97	0	97	1	98	14
	障害児	26	2	28	2	30	1	31	1	32	0	32	1	33	1	34	1	35	4	39	2	41	2	43	2	45	2	45	19
白岡市	障害者	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮代町	障害者	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉戸町	障害者	27	1	28	1	29	2	31	1	32	0	32	0	32	1	33	1	34	0	34	2	36	1	37	0	37	0	37	10
	障害児	6	1	7	0	7	1	8	1	9	3	12	4	16	3	19	1	20	0	20	2	22	1	23	0	23	0	23	17
上記以外	障害者	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		158																										60	

登録者(利用者)数

事業所名 埼葛北障害者生活支援センターひらの
2021/4/1-2022/3/31

市町名	障害者 障害児	2月末現在登録者数		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		今年度延登録者数	
		登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計	登録	累計		
蓮田市	障害者	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0	7	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幸手市	障害者	84	3	87	1	88	2	90	1	91	1	92	0	92	4	96	0	96	1	97	0	97	0	97	0	97	1	98	14
	障害児	26	2	28	2	30	1	31	1	32	0	32	1	33	1	34	1	35	4	39	2	41	2	43	2	45	2	45	19
白岡市	障害者	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮代町	障害者	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0	5	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉戸町	障害者	27	1	28	1	29	2	31	1	32	0	32	0	32	1	33	1	34	0	34	2	36	1	37	0	37	0	37	10
	障害児	6	1	7	0	7	1	8	1	9	3	12	4	16	3	19	1	20	0	20	2	22	1	23	0	23	0	23	17
上記以外	障害者	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		158																										60	

相談支援を利用している障害者等の人数

市町名	障害者 障害児	実人数 (1)	身体障害 (2)	重症心身障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳機能 障害(7)	その他 (8)
蓮田市	障害者	3	1	0	3	1	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
幸手市	障害者	92	5	4	77	10	7	0	0
	障害児	40	2	0	16	0	21	0	5
白岡市	障害者	1	0	0	1	0	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
宮代町	障害者	4	0	0	3	1	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
杉戸町	障害者	34	0	0	29	6	1	0	0
	障害児	38	0	0	9	0	20	0	9
上記以外	障害者	62	0	0	52	10	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		274	8	4	190	28	49	0	14

【左表について】

・障害別内訳では、重複障がいの場合は、それぞれの障害(知的障がいと精神障がい)の重複の場合は、「知的障がい」及び「精神障がい」に計上)に計上してください。
 重度の身体障がいと重度の知的障がいの場合は、「重心」で計上してください。
 ・(8)その他は、発達障がいの診断途中や手帳取得手続き中など(2)～(7)に該当しない場合に計上してください。
 ・年度途中で障がい児から障がい者になった場合は、それぞれに計上してください。
 ※実人数と(2)から(8)の計は、必ずしも一致しません。
 ※(2)から(8)、わかる範囲の記載でかまいません。

延べ支援利用件数

市町名	支援方法	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		延べ利用人数	延べ支援件数
		利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数	利用人数	支援件数		
蕨田市	訪問	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	11	7
	来訪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同行	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	電話	3	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	電子メール	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0
	個別支援計画	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
	関係機関	3	1	0	0	3	3	0	3	0	2	0	2	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	16
	その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	14	2	2	0	5	6	1	3	0	4	2	2	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	40	40
幸手市	訪問	54	50	51	51	45	59	59	38	62	37	31	41	578													
	来訪	12	5	5	4	0	7	6	0	3	3	2	10	57													
	同行	5	6	10	5	9	5	8	10	6	9	7	10	90													
	電話	76	71	126	106	98	113	73	78	79	83	53	77	1,033													
	電子メール	52	50	5	59	20	48	10	51	9	69	17	56	34	56	12	54	13	53	11	60	8	69	19	677	160	
	個別支援計画	2	1	1	8	2	5	7	0	5	4	3	5	43													
	関係機関	14	41	108	85	79	99	78	76	91	71	59	93	894													
	その他	0	1	7	7	5	6	7	11	8	10	10	9	81													
	計	165	180	328	276	247	311	272	225	267	228	173	264	2,936													
白岡市	訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	来訪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	個別支援計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮代町	訪問	2	0	0	2	1	2	1	2	0	1	1	1	13													
	来訪	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1													
	同行	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4													
	電話	4	2	7	10	2	2	2	5	1	20	1	1	57													
	電子メール	1	0	1	2	0	1	2	0	1	2	2	1	10													
	個別支援計画	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	4													
	関係機関	1	2	8	12	3	2	3	6	3	24	4	3	71													
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2													
	計	10	5	16	25	7	6	6	13	6	48	8	7	157													
杉戸町	訪問	8	20	30	25	10	33	26	20	32	14	12	29	259													
	来訪	3	5	0	3	2	4	4	2	2	1	2	1	29													
	同行	3	4	9	6	8	3	8	4	3	6	5	7	66													
	電話	7	19	37	24	33	19	15	13	39	35	19	24	284													
	電子メール	22	21	0	31	3	22	1	30	3	0	3	0	14													
	個別支援計画	2	0	0	5	0	0	2	3	0	1	3	0	16													
	関係機関	5	11	20	22	12	18	10	14	27	22	18	33	212													
	その他	0	0	2	0	2	1	0	2	0	0	0	1	8													
	計	28	59	101	86	67	81	65	61	105	81	59	95	888													
上記以外	訪問	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	6													
	来訪	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3													
	同行	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2													
	電話	0	1	0	1	2	1	0	1	2	0	0	0	8													
	電子メール	0	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0													
	個別支援計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	関係機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	計	0	3	0	1	3	1	1	5	2	0	1	2	19													
合計	訪問	67	71	81	78	58	94	87	61	95	54	46	72	864													
	来訪	16	11	5	7	2	11	10	3	5	4	4	12	90													
	同行	10	11	19	12	17	8	16	9	16	12	12	17	163													
	電話	90	84	170	143	135	135	91	87	121	138	73	102	1,388													
	電子メール	76	76	5	91	24	74	11	78	10	103	20	88	34	84	15	89	17	83	14	90	8	103	19	103	179	
	個別支援計画	8	1	1	13	3	6	9	3	6	5	8	7	70													
	関係機関	23	55	136	122	97	119	93	96	123	118	82	129	1,193													
	その他	1	1	9	7	8	7	7	13	8	11	10	11	93													
	計	217	249	445	393	330	400	347	304	384	360	243	369	4,041													

1 利用人数は、その月に利用されて人数を記録すること。例:1人に対して3回支援しても1としてカウントする。
 2 支援件数は、1人に対して支援した延べ件数を計上すること。例:1人に対して3回支援しても3としてカウントする。

埼葛北基幹相談支援センタートロン

今年度の取り組みとしては、①地域の相談支援体制の強化②地域の相談支援従事者の人材育成・人材確保③自立支援協議会の活性化④専門的相談支援体制の強化 を重点目標として実施してきた。

昨年度より引き続き、コロナ禍での業務の取り組みとなったが、各市町の行政及び相談支援事業所をはじめとする関係機関のご理解・ご協力により、自立支援協議会の活動は予定通り遂行することができた。

【取り組みの成果】

○地域の相談支援体制の強化として、今年度から災害時支援プロジェクトを立ち上げ、取り組みを始める。まずは各市町の避難行動要支援者の個別支援計画作成進捗状況調査を行ない、災害時支援が必要と想定される対象者のイメージの共有を図る。

次に、相談支援専門員の方と一緒に避難行動計画作成の体験などを行い、避難行動個別支援計画作成までの流れをフローチャートにまとめることで整理。この作業を通して、相談支援専門員の役割と地域のコミュニティを活用した自主防災の強化の必要性を認識することができた。

○人材育成に関しては、障害者相談支援従事者の法定研修（初任者研修及び現任者研修の新カリキュラムの導入に伴い）インターバルの受け入れ方法の強化を図る。特に現任者研修の振り返りを、地域の中で丁寧に行うようにした。このような機会を作ることで、『相談支援専門員の相談先として基幹相談支援センターがある』『相談支援専門員の日々の個別支援から見えてくる地域課題が自立支援協議会の各部会・プロジェクトに反映されている』ことなどを知ってもらうことにつながったと感じている。

○基幹相談支援センターの職員の実地教育従事者としてのスキルアップを図るため、『実地教育従事者養成研修』（厚生労働科学研究事業の一環）を受講し、スーパービジョンについての学びを深める。この研修を受講したことにより、これまで埼葛北地区で行ってきた『ストレングスモデルによる本人中心支援のグループスーパービジョン』に加え、『支援者支援のためのグループスーパービジョン』も取り入れることができ、人材育成メニューを増やすことができた。

○今年度から本格的に活動を始めた地域生活支援拠点オリーバとの連携。地域生活支援拠点の取り組みにより、地域からのご相談、中でも地域包括支援センターからの相談が増加。オリーバの見立てのもと、活用するとよいサービスは何かなどを検討している。

相談対象となった方が、親亡き後も自宅で安心して生活していくためには、地域での見守り体制の強化が必要であることを実感し、それらを目的とした自立生活援助や地域定着支援のサービス利用が有効ではないかと感じられる。だが、埼葛北地区にはこれらのサービスを提供する事業者が少ない現状があり、サービスを請け負う事業者の普及についても、地域生活支援拠点と連動させながら取り組んでいけたらと考えている。

【次年度以降の課題】

- 人材育成プロジェクトの強化（相談支援専門員不足解消のための取り組み）
⇒人材確保を検討する場を設ける
- こども支援の基盤体制づくり
⇒地域のニーズに即した児童発達支援センターを、どうすれば機能したものに行けるか、運営できるか、引き続き協議会を中心に検討していく
⇒こども（家庭）の支援を継続的に行うために必要な支援チームの全体像、各職種の役割、連携方法などの整理を行なう
- サービス管理責任者部会
⇒これまで行っている久喜市と合同開催のサービス管理責任者連絡会の活動に加え、埼玉葛北地区のサービス事業所が集まる機会を作り、埼玉葛北地区の地域ビジョンについて意見交換していく。

生活介護 障害者支援施設あやめ寮

- 定員 75 名 ●平均利用実績：72.8 名 ●利用人数：75 名
- 作業時間 月・水・金曜日 9：30～11：15・13：15～14：30 計 3 時間の作業活動
※新型コロナウイルス感染予防対策（分散食事や換気等）のため、以前よりも作業時間短縮
- ※火・木曜日については、音楽活動や余暇的活動
- 作業場所 ブラウン棟・レッド棟・グリーン棟・寮内・野外活動等
※新型コロナウイルス感染予防対策によりグループホーム壺番館・貳番館を活動場所として実施。
- 作業活動収支 ※（ ）は前年度数値

	年度支出合計	年度収入合計	年度収支実績
ふあくとりーG	¥26,071 (¥11,926)	¥187,678 (¥115,802)	¥161,607 (¥103,876)
がーでんG	¥0 (¥53,005)	¥43,291 (¥43,291)	¥51,272 (¥-9,714)
りさいくるG	¥40,451 (¥3,077)	¥428,709 (¥216,361)	¥388,258 (¥213,284)
くりーんG	¥6,672 (¥5,818)	¥0 (¥0)	¥-6,672 (¥-5,818)
まいるG	¥58,160 (¥7,379)	¥0 (¥0)	¥58,160 (¥7,379)
年度合計	¥131,354 (¥81,205)	¥659,678 (¥375,454)	¥528,324 (¥294,249)

今年度の取り組みと今後の展望

今年度も継続して、新型コロナウイルス感染予防対策により、活動場所としてグループホーム壱番館・貳番館も使用し活動を実施しました。今年度は本棟のリフォーム工事に伴い、すまいる班及びくりーん班の活動場所が変則的となる時期がありましたが、大きな混乱なく活動を行うことができました。活動内容に関しては、やはり外出して活動する機会よりは、施設内での活動がメインとなってしまいましたが、利用者さんが生き生きと活動へ参加していただけるように、趣味的活動や余暇活動の充実を図ってきました。今後は新型コロナウイルスの感染状況などの情勢を鑑みながら、少しずつ外出する機会を設けていければと考えています。そして、利用者さんの高齢化に伴い、作業種や内容の再検討や充実化を図るべく、既存の活動を軸に、さらに新規作業種にも目を向けながらアンテナを張っていきたくと考えています。

また、日中活動の場を地域に求める「活動の場の地域移行」も視野に入れながら、業務遂行・アイデアの創出にも取り組んでいきます。

壱番館活動内容：ラジオ体操・もも・つま先・かかと上げ、手遊び・ダンスDVD・ぬり絵等

貳番館活動内容：ラジオ体操・塗り絵・畑作業・缶作業・館内清掃・筋トレ

個別活動報告

りさいくるG

【活動内容】

①回収物選別②アルミ缶潰し（足）③プルトップ取り④ペットボトルキャップ外し・リサイクル⑤ロードサポート⑥缶回収

・活動体系

・AM・PM：ぶらうん棟内・周辺にて缶潰し・缶の選別・ペットボトルキャップ・ラベル取り・缶回収・ロードサポート

【活動実績】

・ぶらうん棟にて機械を使い足で操作し潰し作業を行っている。

・缶置き場のハウスより袋に入った缶を作業棟へ移動。その後スチール・アルミ・ペットボトル・他に仕分けを行う。

・ペットボトルに関してはキャップを取り、ボトルをカバーしているビニールを剥がす作業を行う。

・缶回収は火曜、木曜日に数か所回り回収を行う。第1・第3金曜日は指定ヶ所の箱回収を行う。

・夏季作業の際に、熱中症になりやすい方などは配置変更や適時水分補給などを行うことで、体調を崩す利用者さんはいなかった。

【課題】

- ・今年度は年間通して缶作業のペースを調整することにより、缶が無くなり作業が出来ないという状況にならずに取り組み、今後も缶作業のペースを調整しながら取り組んでいく。
- ・回収してくる空き缶は不特定多数の方が手にしている物であり、新型コロナウイルスの兼ね合いで感染経路に繋がる一つになるのではないかと考慮し、作業時の手袋着用、休憩時や作業終了時の手洗いと消毒をしっかりと行う。
- ・受注作業は仕入れ状況の変動により安定して取り組める保証はないため、作業以外の散歩、ロードサポートを有効的に活動に取り入れていく。

ふあくとりーG

【活動内容】差し込み・もぎり・ウエス・コネクトプランニング、アイテック

【活動実績】

- ・定期的なもぎり納品、受注を行い安定した作業提供が行えた。もぎり作業は工程が分かれており、利用者さんの能力に応じて幅広く取り組めるため、今後も継続して取り組んでいく。
- ・ウエス作業はハサミを使用するため現在2~3名の利用者さんが取り組んでいる。安定して仕事が入っている為今後も継続していく。
- ・作業リーダーがもぎりの進み具合を把握し、事前に日課表調整で納品を組むことで、作業が途切れることなく提供することが出来た。

【課題】

- ・作業棟への移動が、困難な利用者さんが、平均年齢が上がったことで、年々増えてきています。
- ・作業が提供出来ない状況でも余暇的な要素を取り入れた作業で、紙ちぎりから貼り絵、カレンダー作りや飾り絵等の作成に力を入れることで、作業が無いことでの混乱を防ぐと同時に、利用者さんの楽しみにも繋がっていました。

がーでんG

【活動内容】農福連携活動及び、専門的な知識のある職員が畑作業を率先して実施して頂いております。

土運び 野菜の水やり ハウス内の水やり 畑の草取り 野菜の苗を畑に植える。野菜の種をポットに植える。買い出し（肥料や道具を購入する。） 雨の日は花の本を見る。花の栽培 野菜や花の消毒 野菜の収穫季節収穫（青梗菜・小松菜・ねぎ・たまねぎ・きゅうりなど）土寄せ

【活動実績】

がーでんGのメンバーでは、なかなか集中して取り組めない方がいるのでご利用者個人の能力や適正を見極め、得意の分野で取り組んでもらい一人一人が活躍できるよ

うにしております。無理をしないで一人一人のご利用者にあった作業内容になっております。野菜や花を育てる機会だけでなく、塗り絵や散歩、作業棟の清掃といった活動も積極的に取り入れ、持続して活動に参加出来るよう工夫しています。

主に野菜はあやめ寮の厨房（ハーベスト）に納品しています。農福専門で活動されている職員との連携で、主に収穫のサポートを行っています。作業メンバーは納品した野菜が食事に出ることで喜びを感じて過ごされています。

【課題】

- ・年々ご利用者の体力が低下していく中で、少しでも楽しみを持って取り組めるように支援する。
- ・夏の暑さは年々厳しさを増していくことから、熱中症には十分気をつけて支援する必要がある。

すまいるG

【主な活動内容】

- すまいるグループではあやめ寮生活介護事業の一環として、リハビリ及び利用者さんの健康増進・趣味的活動を通じての情緒の安定を目的に各個人にあったプログラムを作成し、活動に取り組んできました。
- 活動時間：平日の午前中（9:30～11:30） 午後（13:15～14:30）
- 活動内容 全体活動…歌謡曲を利用したリズム体操、ストレッチ運動、日光浴、ウォーキング、音楽鑑賞、ボール遊び、制作活動
個別活動…平行棒、歩行器、腹筋その他の筋力トレーニング、足湯

【活動実績】

- 所属利用者さんの健康増進および情緒面の安定を主な目的として、体操やストレッチ・ウォーキングなど身体を動かす活動。
- 作業班全体そして個人でも季節に合わせた制作活動を行い、完成した作品は作業場所へ掲示し、利用者さんの達成感へ繋がるようにした。1つの作品を作り上げることで、作業班の一体感も強まった。

【課題】

- 所属利用者の障害特性により、活動に前向きになれない方への活動の提供方法の工夫。
- 活動内容を、季節に応じて新たな取り組みをしていきたい。

くりーんG

【主な活動内容】

- 活動時間：平日の午前中（9:30～11:30） 午後（13:15～14:30）
- AMは本棟の清掃活動、洗濯物仕分けを実施。PMは本棟の清掃活動、利用者さんの着替えまたは入浴準備、脱衣場準備、体操を実施。職員体制に余裕がある場合には重点

的に支援が必要な利用者さんへのフォローやマンツーマン対応を行い、各々のスキルアップに取り組んでいる。

○AM

流し掃除、お茶準備、ゴミ集め、ゴミ捨て、食堂椅子拭き、男女アカスリ仕分け、男女利用者さん洗濯物仕分け、シーツ・マット類畳み、洗濯物運び、ネットの洗濯物畳み、タオル畳み、リハビリで使用するボール拭き
筋力トレーニング（平行棒にて足上げ等）

○PM

廊下・居室・食堂のモップ掛け、手すり拭き、レール掃除、男女利用者さん着替えまたは入浴準備、脱衣場準備、お茶の準備、体操、日光浴

【活動実績】

- ・リネン室の整理、備品の確認(必要に応じて備品係と連携)。
- ・棟内清掃とともに利用者さんの衣類確認及び修繕。

【課題】

- ・各作業内容の質の向上。
- ・要把握者の利用者さんへの対応。(体の傾きによる転倒、他者の私物を盗んでしまう方の所在把握)
- ・自身の役割分担が早めに終了した利用者さんへの対応・作業提供。
- ・利用者さんの身体的変化への早めの対応。
- ・作業時の排泄面の支援、声掛けのタイミング。

虐待防止・権利擁護委員会（ハッピーハンド）

1、虐待防止・権利擁護委員会会議

隔月虐待防止・権利擁護について、委員会にて虐待防止に関する内容についての協議及び、直近の虐待案件等々共有を図りつつ、職員へ虐待防止・権利擁護等々についての周知浸透を図った。

2、虐待防止・権利擁護指針の策定

毎月策定することにより、月ごとの目標を職員がそれぞれ意識し、虐待の抑止と権利擁護に関する意識を高めることが出来た。

3、接遇目標の策定

3ヶ月ごとに策定することにより、目標を職員それぞれが意識し、虐待の抑止と権利擁護に関する意識を高めることが出来た。

4、職員へのセルフチェックリスト配布による、振り返りチェックの実施

定期的にセルフチェックリストを職員に配布し、振り返りをしっかり行い、ご利用者の人権や権利擁護を守ることを主とし、支援において安心と安全を提供するように努めた。

5、Special Learning のコンテンツの活用・視聴

虐待防止・権利擁護に関し、コロナ禍の状況で、対面式での研修会等開催が出来なかった為、Special Learning の虐待防止・権利擁護のコンテンツ視聴を職員に周知することにより、虐待防止や権利擁護に対する意識が法人全体に浸透していくように努めた。【主な取り組み】

- 委員会開催（基本隔月5回実施※コロナ状況により未実施の月もあり。）
- セルフチェック配布・集計（2～3ヶ月毎）
- 苦情・相談ポスト設置・集計。
- 接遇目標/虐待防止指針更新（3ヶ月毎/毎月）
- 法人内虐待防止研修の開催。

接遇目標

- 4～6月：より良い衛生環境を整えましょう。
- 7～9月：より良い衛生環境を整えましょう。
- 10～12月：困った時は相談しましょう。
- 1～3月：統一した支援をしましょう。

セルフチェック

5/21：35 8/22：22 11/4：28 3/16：18

課題

- セルフチェックリストに自由記述・支援に困っていることなどの欄を設けるなど、内容の見直し。
- 法人全体の言葉遣い（呼称や丁寧語）の改善。
- 事例検討会や施設内研修の実施

防災委員会

近年危惧されている「大地震」への備えや、「水害」への対応検討を始め、火災予防、防犯対策など災害等のリスクに対して少しでも対応がスムーズにできるように日頃から検討し、情報を共有する活動を進めていく為に、委員会として率先して減災に向けた取り組みを進める。施設内での防災システムを確立し、新人職員でも災害時に迅速な対応が行えるよう取り組む。また、避難訓練を通して、職員だけでなく利用者様にも防災意識を持って頂き、施設全体での防災意識向上を図る。

また、委員会として防犯訓練にも取り組んでおり、防犯スプレー等を使用した防犯訓練に取り組み職員間で情報共有を図る。

【主な取り組み】

- ・防災計画の策定
- ・年間計画に基づく防災活動
- ・自衛消防活動（避難消化訓練）の実施・検証
- ・消防署関係機関との調整共有

- ・ 緊急連絡先策定
- ・ 非常用備蓄の確認
- ・ 点検及び非常持ち出し袋の点検
- ・ B C P 事業継続計画の策定見直し
- ・ 水害、積雪対策等、施設で想定される災害について対応検討
- ・ 幸手市防災安全課との情報共有や福祉避難所についての検討
- ・ 埼玉県災害派遣福祉チーム員登録
- ・ リーダー会議を利用し、役職者への防災関係の情報共有

防災・防犯訓練

日時	内容	備考
5月25日	夜間職員三名体制(夜勤男1女1遅番1)の中、リネン室の乾燥機から出火。作業等へ避難誘導。通報訓練。消火訓練。 新棟1名体制で乾燥機からの出火の通報訓練。消火訓練。	消防署立ち合い
7月29日	夜間時の水害を想定し、避難図上訓練実施。警戒レベル3が発令された想定で、近隣公共施設へ避難。幸手市ハザードマップの確認から避難ルートの確認。避難先の建物の構造を確認し最短での避難ルートの検討を行う。	
12月16日	夜間職員三名体制(夜勤男1女1遅番1)の中、リネン室の乾燥機から出火。作業等へ避難誘導。通報訓練。消火訓練。 新棟1名体制で乾燥機からの出火の通報訓練。消火訓練。	消防署立ち合いなし
1月25日	防犯訓練実施。新棟に不審者が来て、職員一名から応援を呼び、通報と防犯スプレーで対応。	

【課題】

- 利用者さんのADL低下に合わせた避難誘導マニュアルの見直し
- 非常備蓄品の検討
- 災害対策用品の充足
- 避難訓練の内容の検討
- 災害時の電源、連絡手段等の確保
- 新型コロナウイルス感染防止の中で利用者様の避難時における感染防止の取り組み

事故・ひやり委員会

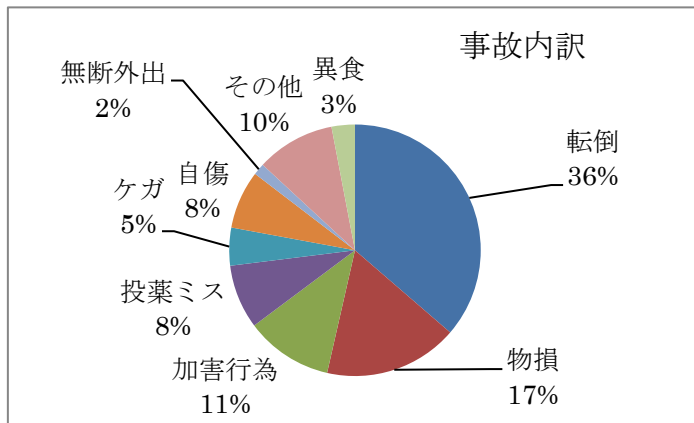
【年間の取り組み・変更点】

- ・ケアコラボ移行のため、事故報告書モデルの作成
- ・注意喚起事項を周知（12月）
- ・投薬マニュアルを再周知（11月）
- ・年間役割分担表を作成（4月）
- ・事故やヒヤリハット報告書内から問題を提起し、改善点を周知
→物の撤去、居室変更、利用者さんの支援改善などを行う。

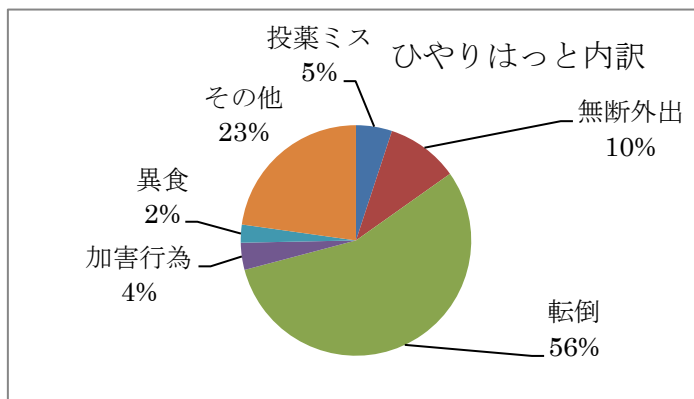
【重大な事故】 【詳細】

・ F田さん：10/3 対人トラブルから不穏に至り、自傷、他害、暴言、物損を繰り返すことがあり、10/4 棟内にて転倒。10/8 本人から胸の痛みの訴えが聞かれ、通院を行うと肋骨が折れていた。

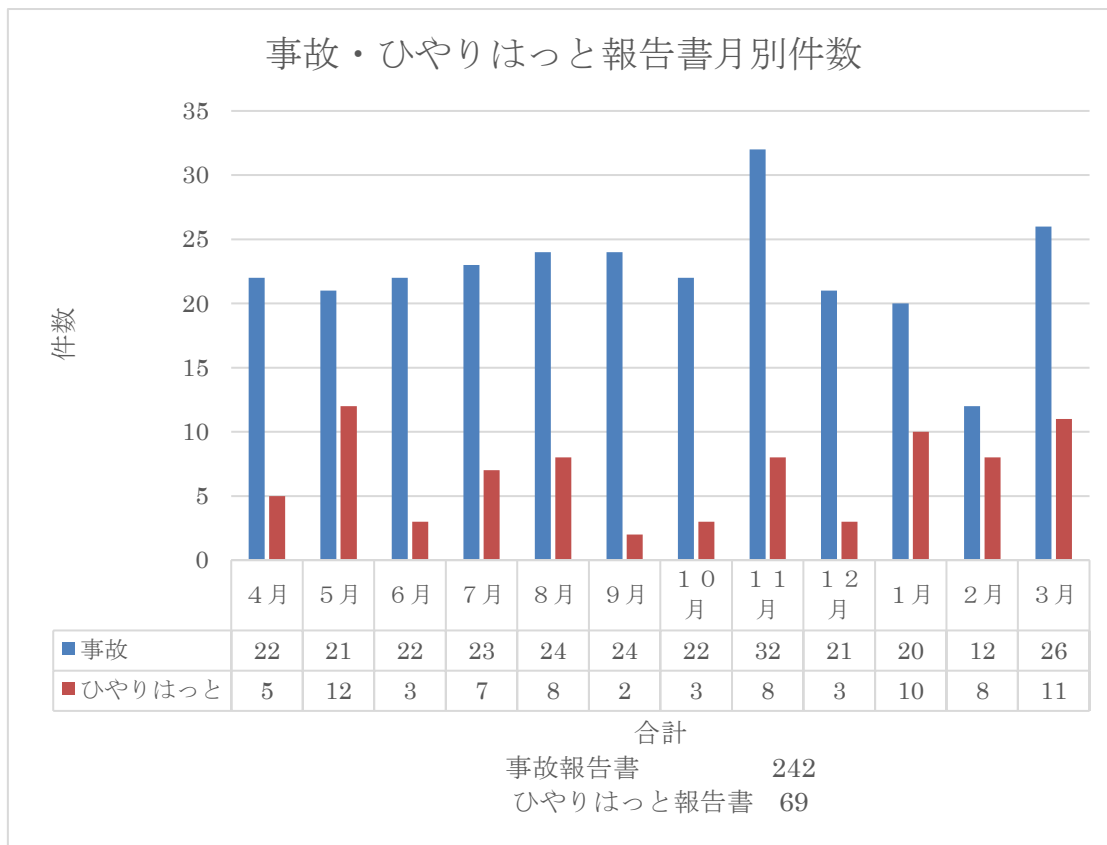
・ K村さん：転倒した際に腕を骨折。・ Y子さん：T中さんの転倒に巻き込まれたため、後日食事の席を変更。・ N村さん：椅子からずり落ちることがあり、居室の環境整備を実施。・ F島さん：夜間の転倒が増えたため、ポータブルトイレを使用開始。・ S原さん：居室内で転倒してしまい、通院実施。幸い怪我はなかったが、要把握者のため、職員配置などの再検討を行う。T中さん：ふらつきや転倒多く挙がっており、医師との連携及び環境改善を行う。



転倒	97
物損	46
加害行為	30
投薬ミス	22
ケガ	13
自傷	20
無断外出	4
その他	27
異食	8



投薬ミス	4
無断外出	8
転倒	44
加害行為	3
異食	2
その他	18



【数値で見る傾向】

昨年合計 196 件に対し今年度は 242 件。全体的な件数をみると事故報告の数は増加傾向。内訳をみると、昨年度に続き転倒が今年度も多く見られた。

医務食事委員会

医務看護部門

《実績活動》

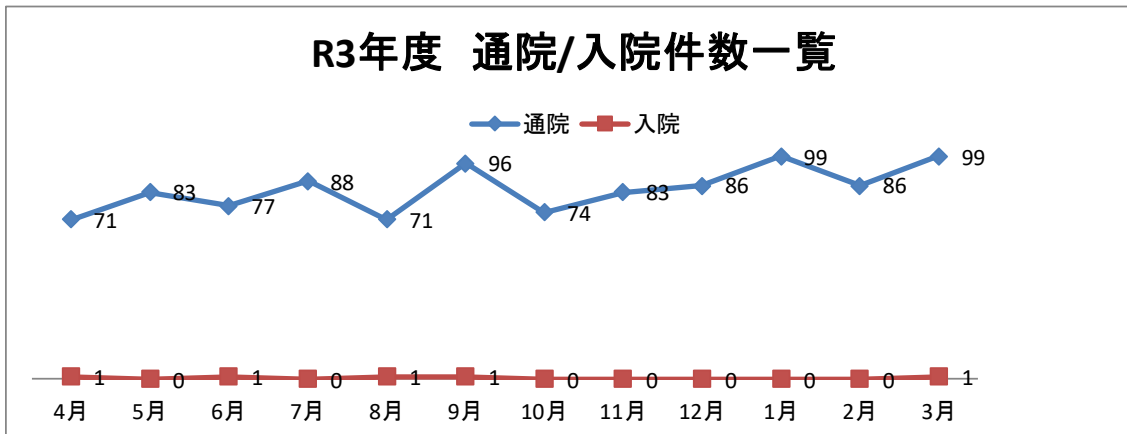
・会議の運営、会議内容の周知 ・マニュアルの見直し ・各医師へ、利用者の報告書の確認 ・健康診断準備と運営。

・既往歴の更新 ・歯科健診 ・インフルエンザ予防接種準備と運営 ・コロナウイルス予防接種準備と運営 ・感染症予防対策・対応。

《活動分析》

・新型コロナ感染者発生により、緊急事態宣言等もあり、通院は可能な限り職員代理受診にて実施。1・4月健康診断は全職員及び全入所利用者、GH女性利用者対象、10月健康診断は夜勤対応職員及び全入所利用者、GH男性利用者対象で、分散にて実施。・昨年度実施できなかった歯科健診は分散にて実施。・今年度の新たな取り組みとして、3回のコロナウイルス予防接種を実施。接種後、重篤な副反応を示す方はいなかった。

・昨年度の通院件数は168件であったが、今年度は486件であり大幅に増加。今後も感染症対策へ取り組んでいく。
 ・昨年度の通院件数は168件であったが、今年度は486件であり大幅に増加。今後も感染症対策へ取り組んでいく。



	通院	入院		通院	入院
4月	71	1	10月	74	0
5月	83	0	11月	83	0
6月	77	1	12月	86	0
7月	88	0	1月	99	0
8月	71	1	2月	86	0
9月	96	1	3月	99	1
			合計	486	5

令和3年度入院状況

入院者名	病院名	疾病内容	入院者名	病院名	疾病内容
Aさん	東埼玉総合病院	てんかん	Dさん	秋谷病院	原因不明の熱発による精査目的
Bさん	秋谷病院	蜂窩織炎	Eさん	獨協医科大学 越谷病院	手術目的
Cさん	東武丸山病院	精神疾患			

食事部門

《実績活動》

- ・ 食事会議の運営
- ・ 会議内で、各利用者の体重・栄養状態・摂取状況などの確認
- ・ 会議内で、誕生日食、行事食などの確認
- ・ 会議内で、検食簿の確認
- ・ 検食簿の一覧作成と確認
- ・ 食堂の掲示物作成
- ・ 食堂座席の名札の定期的な張替え
- ・ 嗜好調査の配布

行事食 (R3)

実施日	行事	メニュー
4/1	お花見	やきそば、いなりずし、からあげ、たまご焼き、ポテト、コールスロー、バナナ
4/21	誕生日 (4月)	ロコモコ丼、華風スープ、水菜のサラダ、コーヒーゼリー
5/5	こどもの日	オムライス、スープ、ブロッコリーのマヨサラダ、ゼリー
5/27	誕生日 (5月)	ご飯、ミネストローネ、ハンバーグ、シーザーサラダ、抹茶ババロア
6/24	誕生日 (6月)	カツ丼、みそ汁、華風豆腐サラダ、漬物、ピーチゼリー
7/7	七夕	七夕そうめん、野菜揚げ、
7/28	土用の丑	うな丼、すまし汁、ごぼうサラダ、酢の物
7/29	誕生日 (7月)	ワンタンメン、エビチリ、バンバンジーサラダ、杏仁豆腐
8/26	誕生日 (8月)	ざるそば、天ぷら、ごぼうサラダ、ゼリー
9/17	お祭りメニュー	やきそば、フランクフルト、からあげポテト、今川焼き
9/30	誕生日 (9月)	ご飯、オニオンスープ、ハンバーグ、野菜サラダ、コーヒーゼリー
10/28	誕生日 (10月)	ブラックカレー、きのこスープ、ナゲット、シーザーサラダ、ピーチゼリー
11/18	誕生日 (11月)	鶏だし塩ラーメン、餃子、カレーポテトサラダ、ゼリー

12/2	工事終了祝い	炊き込みご飯、みそけんちん汁、天ぷら、炊き合わせ、菜の花のポン酢和え、いちごゼリー
12/16	誕生日（12月）	サンドイッチ、トマトスープ、チーズとポテトのサラダ、コーヒーゼリー
12/24	クリスマス	カレーピラフ、わかめスープ、照り焼きチキン、野菜サラダ、ゼリー
12/31	大晦日	えび天そば、ミニおにぎり、南瓜含め煮
1/1	元旦	雑煮、お節（伊達巻、黒豆、紅白かまぼこ、栗きんとん、ほうれんそうのお浸し）
1/11	新年会	五目タケノコご飯、すまし汁、天ぷら、炊き合わせ、オレンジゼリー
1/27	誕生日（1月）	ちゃんぽん、揚げ餃子のソースかけ、かぼちゃサラダ、杏仁豆腐
2/3	節分	かき揚げそば、巻き寿司、とうがんの含め煮、フルーツ
2/24	誕生日（2月）	ごはん、けんちん汁、鶏から揚げ、カラフルマカロニサラダ、浅漬け、いちごゼリー
3/3	ひなまつり	ちらし寿司、すまし汁、タラの粕漬け焼き、タケノコの土佐煮、フルーツ
3/31	誕生日（3月）	バターチキンカレー、スープ、ナゲット、シーザーサラダ、コーヒーゼリー

セレクトメニュー

実施日	メニュー	
4/26	A：かきたまうどん B：カレーうどん	かぼちゃの煮物、ツナとコーンのサラダ
5/31	A：きつねうどん B：たぬきうどん	かぼちゃのそぼろ煮、ブロッコリーとレンコンのサラダ
6/28	A：豚キムチ丼 B：親子丼	みそ汁、豆のサラダ、フルーツ
7/26	A：冷やしたぬきそば B：冷やしきつねそば	南瓜含め煮、ツナとコーンのサラダ
8/30	A：冷やし中華（しょうゆ） B：冷やし中華（ごまだれ）	しゅうまい、さつまいもサラダ
9/27	A：コロッケ&メンチ B：コロッケ&カニクリーム	ご飯、みそ汁、花野菜のマリネ、漬物
10/25	A：ほうとう風うどん	揚げ出し豆腐、もずくの酢の物

	B：けんちんうどん	
11/29	A：クリームシチュー B：ビーフシチュー	パン、シーザーサラダ、りんご
12/27	A：おろしハンバーグ B：デミグラスハンバーグ	ご飯、みそ汁、ブロッコリー酢味噌和え、漬物
1/31	A：鶏肉のたらこマネズ焼 B：鶏肉のパン粉焼き	ご飯、みそ汁、春雨ドレッシング、漬物
2/28	A：カレーライス B：ハヤシライス	スープ、海藻サラダ、フルーツヨーグルト
3/28	A：ミートソースパスタ B：クリームソースパスタ	卵スープ、野菜サラダ、フルーツ

生活支援委員会

ご利用者の生活全般を支援することを目的として、年間を通して余暇活動の準備と自治会の運営、散髪の手配を行った。また余暇は新型コロナウイルス予防対応として一か所に集まらないで分散しながらの対応をしている。また今年度の自治会も作業中に各作業場に行き活動をしている。

4月：会議にて今年度の方針を決定。

5月：余暇 鯉のぼりを実施。

（男女別で食堂にて実施。鯉の折り紙に磁石を付け釣りを実施）

6月：自治会 熱中症対策、食中毒についてを実施

7月：余暇 花火を実施（正面玄関にて希望利用者が花火をする）

自治会 短冊に願いを記入

8月：自治会 劇（各作業場に行き、劇をしながらあやめ寮のルールの再確認）

10月：余暇 ハロウィン（ホースセラピーを実施）

11月：自治会 感染症について（各作業場に行き、ウイルスの説明、対策を伝える）

12月：余暇 クリスマス会

（劇：平等にサンタが訪れる その後ケーキを食べて楽しむ）

自治会 クリスマスツリーの設置

1月：余暇 新年会 あやめ神社作成。（初詣、おみくじ、鐘つき）

自治会：新年の抱負を各利用者が記入され食堂に掲示

2月：余暇 節分

（バレンタイン企画：普段感謝している人にメッセージを書く。

節分企画：鬼のピンを倒すボーリングを実施）

3月：余暇雛祭り：ホースセラピー（ポニーに餌やり ポニーの芸を鑑賞）

【活動実績】

- 委員会開催（毎月行っていたが3月は会議なし）
- 自治会開催（各作業場での実施）
- 季節行事余暇活動（随時）
- 散髪の実施（7月8月9月は新型コロナウイルスの影響で散髪業者は来ていません）

【課題】

- 新型コロナウイルスの影響で一か所に集まり活動することが出来なかったため、今年度も食堂、談話室に分けて、さらに男女を2分割して実施しています。活動中も利用者さんが密集しないように配慮して活動に取り組みました。
- 自治会も一か所に集まり活動をしないで、作業中に各作業場に行く活動を実施しております。
- 散髪は今年度も緊急事態宣言期間は施設に散髪業者が来れませんでした。

・地域交流会参加実績

※全て中止のため不参加

5月	さわやか交流会（発表有）	ポピーカラオケクラブ様
6月	花のステージ	幸手市歌謡連盟様
9月	こころのうた・愛の歌	麻衣の音楽教室様
9月	巡礼桜（発表有）	沢明日香様
9月	夢舞台	さくら歌謡クラブ様

・令和3年度 希望旅行実績

※新型コロナウイルス感染流行により未実施

課題：コロナ禍での活動が難しく、今後の世間一般の状況を見ながら安全第一で検討していく必要がある。

衛生委員会

年間テーマを軸に毎月委員会を実施し、テーマの内容で産業医にも助言をいただきながら、従業員へ職員会議の場を活用しながら情報提供を行う。

※緊急事態宣言時は産業医の会議参加は控える対応を実施。

年間テーマ

月	テーマ	月	テーマ
4月	社内で行き組む自殺対策	10月	短い時間を活用しよう！社内で行き組める運動
5月	生活習慣病予防	11月	若者も注意したい腎機能の低下
6月	応急処置～心肺蘇生法・止血・骨折～	12月	感染予防対策の兼ね合いで延期
7月	寝苦しい夏の夜を快適に過ごす睡眠管理術	1月	感染予防対策の兼ね合いで延期
8月	他人事ではない脳血管疾患のリスク	2月	感染予防対策の兼ね合いで延期
9月	衛生委員会について再確認しよう	3月	次年度の年間テーマ検討

・夏季

熱中症対策用のスポーツドリンク、塩飴用意。

健康診断結果で要再検査項目があった場合の再検査実施の啓発。

・冬季

感染症対策用のマスク、手指消毒液、のど飴用意。

健康診断結果で要再検査項目があった場合の再検査実施の啓発。

・ストレスチェック実施。

ストレスチェック回答への啓発。実施後の高ストレス判定者への産業医面談希望の有無の確認。

・今まで産業医を担って下さっていた、秋谷病院院長先生から、次年度は同病院の糸川先生に変更になる。

イベント委員会

令和3年度は新型コロナウイルスの影響で、毎年恒例となっていた盆踊り大会、あやめチャリフェスタを中止としています。全国で感染者が増えている状況や、緊急事態宣言・まん延防止策などを受け、地域の方々をご招待する2大イベントの実施は不可能と判断する形となりました。この2大イベントの中止に伴い、施設で生活されているご利用者様の楽しみを違う形で提供出来ないかと考え、イベント委員会として3密に配慮した余暇活動や芋ほりイベントなどを実施しました。新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にある中、次年度も引き続き、状況を見つつ新しい形のイベントを計画していく必要があると考えています。

[活動内容]

4/1	お花見
5/1～5/5	お楽しみおやつ(イベント委員にて用意したおやつ提供)
6/10	芋ほり余暇
7/20	スイカ割余暇
8/11～8/15	お楽しみおやつ(イベント委員にて用意したおやつ提供)
9/17	絵灯籠余暇
11/22～11/26	お楽しみおやつ(イベント委員にて用意したおやつ提供)
※厨房工事のため	
11/30	昭和の縁日余暇
12/31～1/4	お楽しみおやつ(イベント委員にて用意したおやつ提供)
1/1	正月余暇
2/14	バレンタイン余暇

[イベント収支報告]

・ 絵灯籠余暇	支出	¥17,560
・ 昭和の縁日余暇	支出	¥16,591
・ 令和4年度お花見準備	支出	¥18,984

あやめ協力会

【主な活動】

「第17回あやめ協力会総会」は新型コロナウイルス感染の拡大・緊急事態宣言ということもあり、初めて書面での議決実施となった。コロナ禍での活動模索は非常に難しく、協力者へ感謝のエコバッグを制作し、プレゼントを試みるなどの活動を行えたことは大きな収穫である。

【活動実績】

- あやめ協力会総会 ・ 新型コロナウイルス流行により、書面にて実施。
- あやめ寮チャリフェスタの開催 ・ 新型コロナウイルス流行により中止。
- あやめ寮協力会会員様へ、あやめ寮特製エコバッグを作成・配布
・ 令和元年度より、協力会会員になっていただいた方を中心にエコバッグ配布実施。

【課題・補足】

- あやめ協力会総会 ・ 事前に会計及び会計監査との連携をより綿密に図る。
- あやめ協力会会員の募集 ・ 協力会員の特典の検討
- あやめ寮チャリフェスタ

・新型コロナウイルス流行により、実施が難しい現状のため、代わりとなる活動などの提案・イベント委員会と協力し進める必要あり。

令和3年度 あやめ寮協力会収支報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1、前年度からの繰り越し	¥1,440,885
2、今年度収支	¥33,000
【内訳】	
② 一般会員 (¥2,000)	4口=¥8,000
②事業所会員 (¥10,000)	2口=¥20,000
③団体会員 (¥5,000)	1口=5,000
3、今年度支出	
【内訳】	
① 書面総会費用 (葉書)	¥6300
② 振込手数料	¥1,624
③ 会員用エコバッグ	¥35,000
④ 残高証明書発行手数料	¥103
⑤ 総会資料 (郵送)	¥12,880
⑥ 前会長香典	¥10,000
4、次年度への繰り越し	¥1,407,978

実習生・ボランティア

- 令和3年度年間受け入れ表に基づき、実習生の受け入れを実施しています。
 - オリエンテーションに関しては、新型コロナウイルス感染予防として、手紙を各学校へ郵送し、書面にて事前にオリエンテーション内容を伝えることや、zoomを用いてのオリエンテーションを実施しています。状況により実習初日に口頭でのオリエンテーションを行うなど臨機応変に対応しています。
- ※オリエンテーション資料は今までのものに加え、感染予防に関する資料を作成済み
- 感染予防対策として、「誓約書」の提出を依頼。実習開始2週間前からの検温記録・体調確認を実施しています。また、実習期間中は毎朝の検温実施に加え、こまめな手洗いうがい・手指消毒を促し、マスクの着用をお願いしています。
 - 実習巡回に関しては、新型コロナウイルス感染予防として新棟2階で実施しています。入室の際には、検温・手指消毒の実施を行っています。

【活動実績】

●実習

・令和3年度の受け入れ

(オリエンテーション・実習生勤務表の作成・実習対応・評価)

・令和4年度の受け入れ調整

・責任実習を実施

・オリエンテーションに関しては、新型コロナウイルス感染予防として、手紙を各学校へ郵送し、書面にて事前にオリエンテーション内容を伝えることや、zoomを用いてのオリエンテーションを実施しています。状況により実習初日に口頭でのオリエンテーションを行うなど臨機応変に対応しています。

・感染予防対策として、「誓約書」の提出を依頼。実習開始2週間前からの検温記録・体調確認を実施。また、実習期間中は毎朝の検温実施に加え、こまめな手洗いがい・手指消毒を促し、マスクの着用を依頼。

【活動実績】

4月：帝京平成 2名 12日間 埼玉保育 1名 11日間

5月：貞静学園 2名 10日間

6月：川口短期 2名 12日間

7月：川口短期 2名 12日間 東京教育 2名 12日間

8月：聖徳大学 2名 12日間

9月：受け入れなし

10月：埼玉保育 2名 11日間 東京未来 4名 12日間 武蔵野短期 2名 10日間

11月：聖徳大学 2名 11日間 帝京平成 2名 12日間 埼玉保育 1名 11日間

12月：埼玉保育 1名 11日間

1月：埼玉保育 1名 11日間

2月：埼玉学園大学 1名 12日間 埼玉保育 1名 11日間

3月：国際学院埼玉大学 2名 9日間 埼玉純真 2名 10日間

※年間 11校 34名 延べ 381日間

【介護等体験実習】

新型コロナウイルス感染の状況の影響により当初の依頼人数6名ではあったが、結局辞退等を受け、受け入れ人数は4名。

短期・日中一時

- 年間を通じてコロナウイルス感染症の対策を徹底した上で受け入れを行っております。
- 年間を通じて新規コロナの感染者数が増加傾向にあることから、日中一時の受け入れを中止しております。緊急の方は状況を検討しながら、受け入れるか判断しております。

活動実績

- 日中一時・短期入所利用者の受け入れ調整
- 利用希望者の相談・見学・契約対応
- 受け入れ利用者の課題解決・環境調整
- 他施設との連携・相談支援との連携

令和3年度日中一時 利用状況 人数 収入 事業報告 ※枠下()部分は去年度収入

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期合計
利用人数	0	0	0	0	0	0	0
利用回数	0	0	0	0	0	0	0
利用者負担金	0	0	0	0	0	0	0
市町村負担額	0	0	0	0	0	0	0
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期合計
利用人数	0	0	0	1人	0	0	1人
利用回数	0	0	0	2回	0	0	2回
利用者負担金	0	0	0	1,220	0	0	1,220
市町村負担額	0	0	0	10,260	0	0	10,260
年間						合計	¥11,480 (¥211,310)

令和3年度短期入所 利用状況 人数 収入 事業報告 ※枠下()部分は去年度収入

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期合計
利用人数	0	0	1人	2人	0	0	3人
利用回数	0	0	1回	2回	0	0	3回
利用者負担金	0	0	3,050	4,990	0	0	8,040
市町村負担額	0	0	25,278	42,123	0	0	67,401
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	半期合計
利用人数	1人	2人	1人	1人	1人	1人	7人
利用回数	1回	2回	2回	1回	1回	2回	9回
利用者負担金	3,050	8,190	3,940	3,940	4,320	20,080	43,520
市町村負担額	0	66,790	33,670	33,670	33,670	143,102	310,902
年間						合計	¥429,863 (¥819,199)

保護者会

事業内容

- 毎月の行事・イベントや誕生日会の写真を掲載したあやめだよりを作成。
- 毎月の面会日にて、保護者様への質疑応答・利用者様の近況報告を実施。
- 新型コロナウイルス拡大防止の為、毎月の面会日ではリモート面会を実施。
- 毎月、各担当職員へ各利用者様の近況報告書の作成依頼。発送物をまとめて送付。
- 会報委員との連携
- 面会日記録の作成

※新型コロナウイルス拡大に伴い感染予防の為、あやめ寮へ来寮してのリモート面会
は中止。自宅からリモート面会または、電話での通話で対応。直接来寮でしていただ
いての面会は中止している。

【課題】

- ご家族の高齢化に伴い、来寮の負担を軽減できるメリットはあるものの、電子機器
の設定やリモート対応出来る家族に限られてしまう為、改善は必要。
- 利用者様との面会の復活のタイミング、調整
- ご家族との面会が復活した際の感染防止策
- 保護者様と職員の交流の機会の設定

令和3年度面会日およびリモート面会参加家族数

月	人数	月	人数
4月11日	リモート面会 参加者12家族	10月10日	リモート面会 参加者13家族
5月16日	リモート面会 参加者13家族 保護者会総会/協力会中止	11月14日	リモート面会 参加者15家族 チャリフェスタ中止
6月13日	リモート面会 参加者13家族	12月12日	リモート面会 参加者14家族
7月11日	リモート面会 参加者11家族	1月9日	リモート面会 参加者14家族 保護者会新年会中止
8月8日	リモート面会 参加者15家族 盆踊り大会中止	2月13日	リモート面会 参加者15家族
9月12日	リモート面会 参加者13家族 モニタリング中止（書面にて）	3月13日	リモート面会 参加者15家族 三者面談中止

施設整備委員会

備品購入・施設内・外の美化活動を実施いたしました。

施設外では、草木の害虫駆除・除草剤散布を実施いたしました。

施設内では、施設内の備品購入、施設全体の害虫駆除2回（水回りなし）

計画・実施しております。

【主な活動】

- 4月 除草剤散布
- 5月 本棟害虫駆除（昼食：吉野家※並盛牛丼）
新棟害虫駆除
- 5月 作業棟害虫駆除（ぐりーん棟、れっど棟、ぶらうん棟）
- 6月 除草剤散布
- 8月 除草剤散歩
- 9月 備品倉庫片付け
- 10月 B棟倉庫片付け
- 11月 粗大ごみ処分場所検討
- 12月 本棟害虫駆除（昼食：吉野家※並盛牛丼）
新棟害虫駆除・新棟床ワックス掛け実施
- 12月 年末大掃除（施設内大掃除割り振り・カーテン洗濯）
- 2月 古川商店が3月末での閉店に伴い紹介先の遠藤商店と備品内容について検討
- 3月 年度末調整での備品注文
（来年度の引継ぎがスムーズに進められるように多めに注文）

【活動実績】

●害虫駆除は年4回となっているが、令和3年度に関しては施設内改修工事があった関係で水回りの害虫駆除は中止し、煙の害虫駆除のみを実施している。

【主な活動】

- 害虫駆除（本棟・新棟※煙のみ、作業棟）
- 除草剤散布
- 施設内備品購入・管理
- 大掃除（施設大掃除・カーテン洗濯）

【課題・補足事項】

- 備品については、引き続きコロナの影響で一部商品の高騰が目立っている。特にグローブと消毒液の値段が安定しておらず、購入個数も限られてしまっている。この2点に関しては、昨年度と続いて事務にて注文管理をさせていただいている。※値段が安定した時は、施設整備委員会管理に戻るが、それまでは事務にて管理となっている。
- 備品注文先での古川商店が3月末で閉店をされることで、遠藤商店を紹介されている。遠藤商店は令和4年度4月から注文開始となる。

●害虫駆除は業者へ委託しており、委員会としてお弁当の発注、当日のタイムスケジュールの作成等を行なっている。作業棟・新作業棟・ひらのは業者へは委託せず、各作業責任者にて行なってもらっている

令和3年度 備品収支報告 ()は前年数値

月	金額	月	金額
4月	¥72,363 (225,646)	10月	¥85,846 (53,373)
5月	¥39,767 (39,748)	11月	¥105,521 (101,745)
6月	¥36,658 (215,087)	12月	¥106,270 (68,525)
7月	¥91,667 (317,202)	1月	¥99,976 (74,830)
8月	¥117,145 (171,899)	2月	¥123,707 (65,020)
9月	¥25,550 (31,759)	3月	¥142,208 (28,692)
上半期累計	¥383,150 (1,001,341)	下半期累計	¥663,529 (392,185)
年間累計		¥1,046,679 (1,393,526) (1,142,261)	

※一昨年度年間支出¥1,142,261→昨年度年間支出¥1,393,526→今年度¥1,046,679
昨年度比約 25%経費減 (一昨年度 8.4%経費減)

課題

- 安くして品質の良い購入先を探し、経費節減を図る。
- 商品の補充が遅くなり、利用者に迷惑をかけないように心がける。
- コロナの影響で日用品の高騰が目立っている。※特にビニールグローブや消毒液等。衛生面を考慮しながらも節約の意識も同時に高めていきたいと思う。

地域貢献PJ T

地域貢献PJ T委員会としては、貧困家庭や孤食の子どもに対しての食事の提供や居場所作りを目的に『こども食堂』※あやめこども笑顔食堂の営業をしました。開催に当たり、協力団体※食材の提供団体や企業との交流、他のこども食堂との情報交換会に参加し、それぞれの団体様の温かい思いに触れ、委員会としても良い影響を受けることが出来ました。

今年度は一年を通してコロナ禍ということで、感染拡大を避ける為、安価（大人100円 子供50円）での弁当販売を行いました。その中で、嬉しそうに来店してくれる子供の笑顔を見ると益々良い物を提供したいと思うと共に更に子供達に喜んでもらえるサービスを考えていきたいと思いました。

今後の課題

- コロナ収束後、弁当販売以外のサービスの検討
- 満足度の高いメニューの工夫

あやめ寮建築PJT

昨年度後半に打合せが動き出し、5月に入札、6月着工という形で大規模改修工事が行われた。やはり、生活をしながらの改修工事ということもあり工事範囲を絞る必要があるため、要望・工期・工程・予算などを勘案しながら、工事範囲の検討を繰り返し、一般支援員の支援のしやすさやモチベーションにも繋がる工事内容を模索し、毎週、工事関係者と定例会議を実施し情報共有を重ねながら工事が進んだ。12月に竣工式典を行い、残工事も含め年度内に完工できた。

車輛

〈活動内容〉

- 各車輛に車輛責任者を設置し、月に1回の車輛の点検・清掃の実施。
- 月に一回の運行簿のチェック
- 季節による車輛装備品のチェック

※スタッドレスタイヤ、ノーマルタイヤの履き替え作業、インフルエンザ感染症予防の為の医療品

- 各車輛の駐車場所の設定。

[課題]

- 今までは、主に職員にてタイヤ交換などを実施していたが、整備不良などがあったため今後、タイヤ交換に関しては中村タイヤ様に一任する予定。
- 職員の中で、自転車通勤などが増えており、公用車の運転が難しい職員がいる。有事の際や通院などで車両運転は必要な事なので今後、運転練習など積極的に取り組む必要がある。

広報委員会

●事業報告・活動実績

・7月・10月・2月の年3回、会報誌「あやめ」の発行、保護者・関係機関へ郵送。

- 7月発行…会議実施月(4月・5月・6月※7月は広報紙郵送準備)

○7月発行分記事内容：お花見、上長からの挨拶、本棟改修工事について、令和2年度決算報告、新任職員紹介、入社式・辞令式、埼玉葛北基幹相談支援センタートロコについて、GWお楽しみイベント・協力会・寄付金、頂き物、コロナ情勢による盆踊り大会・チャリフェス・こども食堂についてのお知らせ

- 10月発行…会議実施(8月・9月※10月は広報紙郵送準備)

○10月発行分記事内容：ホースセラピー実施、夏に行った余暇、ワクチン接種、歯科検診、虐待防止研修、協力会・寄付金、頂き物

- 2月発行…会議実施(12月・1月※2月は広報紙郵送準備)

○2月発行分記事内容：竣工記念、クリスマス会、年末年始の様子、縁日、理事長・施設長からの新年の挨拶、内定式、感染症対策研修、協力会・寄付金、頂き物

ホームページ

ホームページに関しては、これまでと同様に情報発信として「支援員ブログ」を中心にできる限り身近な情報を更新し、事業所の取り組みを紹介している。コロナ禍で保護者をはじめ、来寮者の出入りが制限される状況が依然続いている中で、ブログを中心とした閲覧数の伸びは好調であった。トータルでホームページ開設から100,000件の訪問者を大きく超えて未だ伸び続けている。また、Instagram・Twitter・Facebookと連動させ、できるだけ閲覧いただけるような取り組みを実践することで、モバイルビューが非常に増加傾向にある。ホームページへアクセスのあった媒体を分析すると、Facebook・リクナビ・Instagramが上位を占めている。

以降に、アクセス数の数値を示すデータを添付しているが、昨年度よりも増加傾向にあり、今後も親しみのもてる情報発信を心掛けていきたい。

ホームページアクセスランキング（上位2件）

ページアクセス詳細

ホームページ内における内容	訪問者数	ページビュー
社会福祉法人 平野の里 障害者支援施設 あやめ寮/	7556	11793
あやめ日記（支援員ブログ）	5101	16373

令和3年度アクセス状況

訪問者数	19,431 (18,627)	前年比	104.3%
ページビュー	61,476 (53,087)	前年比	115.8%
モバイルビュー	73% (78%)	前年比	93.5%



職場研修

コロナ禍2年目、研修開催の難しい状況下で、外部研修はほぼオンライン化となり、引き続き、研修を軸にした職員育成に大きな障壁があった。しかし、オンライン化を追い風に、多くの職員が同じ学びを得られるチャンスということで、工夫と環境創出することに主眼を置いて

1名の新卒職員を仲間に迎え入れた令和3年度、令和2年度の新入職員と共に外部研修においては「強度行動障害支援者養成研修」の受講を皮切りに学びを進め、昨年度から導入している「SpecialLearning」の知的障害者支援に特化したeラーニングシステムの推進を図った。令和3年度は「埼玉県虐待防止権利擁護研修」をオンラインで全職員に視聴する機会を作り、毎月、少人数で同じ動画を視聴して共有を深めた。施設内では令和4年1月に「新型コロナウイルス感染対策研修」として、厚生労働省委託事業に応募し、感染管理認定看護師を招き、二部制で実地研修及び施設内ゾーニングについて学びを得た。

例年行われている「職員研修旅行」ということで他法人の見学・研修会参加を兼ねて、職員の親睦を意図した研修旅行はコロナ禍により実施が難しく中止。

オンライン研修化が一気に進み、オンライン研修の受講対象職員の幅も広がったが、やはり大きな利点としては「職員全員が同じ知識を得ることができる大きなチャンス」であるということが挙げられる。なかなか普段出張の難しい立場の職員も含め、動画やオンラインを通じて知識を得ることができるということは、共通言語化が図れるということで、支援の質をさらに向上させるチャンスに繋がると考えられる。安心安全の中で研修会が開催できるまでは、オンラインを軸に歩みを止めない研修機会を実践していきたいと考えている。

令和3年度 主な研修参加実績

研修名	時期	主催	参加者
新任職員研修①	4月	あやめ寮	新入職員
新任職員研修②			
施設内虐待防止権利擁護研修①	5月	あやめ寮	全職員グループ別
新任職員研修③ 幸手宿場町歩き		あやめ寮	新入職員
新任職員研修④	6月	あやめ寮	新入職員
強度行動障害支援者養成【実践】		(福)天恵園	照沼・小林・横田
施設内虐待防止権利擁護研修②		あやめ寮	全職員グループ別
経営青年会第一回全体研修会		埼玉経営協青年会	杉村
新任職員研修⑤		あやめ寮	新任職員
強度行動障害支援者養成【基礎】(浦和)	7月	日本キャリアパスアカデミー	青山・鈴木・三浦
安全運転管理者研修			小松
施設内虐待防止権利擁護研修③		あやめ寮	全職員グループ別
社会福祉施設災害研修 (Zoom)		埼玉県社会福祉協議会	佐伯
発障協青年部会 (Zoom)		埼玉県発達障害福祉協会	桑原・佐伯
経営協 主任係長講座(オンライン)	8月	全国経営協	佐伯
強度行動障害支援者養成【基礎】(越谷)		(福)天恵園	永井・石垣・兼次
介護業界新卒採用トレンドオンライン		HELPMAN JAPAN	杉村
施設内虐待防止権利擁護研修④		あやめ寮	全職員グループ別
発障協新任オンライン研修	9月	あやめ寮	新任研修
強度行動障害支援者【実践】		(福)天恵園	工藤・柿沼麻・菊地 本澤・井筒・石田
施設内虐待防止権利擁護研修⑤		あやめ寮	全職員グループ別
施設内初任者文書作成・報告		埼玉県社会福祉協議会	1年目・2年目職員対象
障害者施設の報酬改定に備えて		(株)JIC	主任以上リーダー職
オンライン座談会 第二回 経営協青年		埼玉経営協青年会	杉村
全国施設長会議 (オンライン)	10月	日本知的障害者福祉協会	倉持・大澤・杉村
発障協障害者支援施設部会 現場情報交換		埼玉県発達障害福祉協会	小林・井形・八木
日中活動のサービスの支援の在り方		国立のぞみの園	主任以上リーダー職
発障協日中活動支援部会 研修会		埼玉県発達障害福祉協会	横田
日中活動支援部会全国大会秋田大会		日本知的障害者福祉協会	全職員対象
発障協 青年部会		埼玉県発達障害福祉協会	桑原・佐伯
経営協 朗務管理セミナー①		全国経営協	杉村
施設内虐待防止権利擁護研修⑥		あやめ寮	全職員グループ別

経営協北関東・信越協議会セミナー	11月	経営協北関東・信越協議会	杉村・小松・
千葉県障害者福祉協会研修ゲスト		千葉県障害者福祉協会 HELPMANJAPAN	杉村
経営協 朗務管理セミナー②		全国経営協	杉村
発障協 中堅職員研修		埼玉県発達障害福祉協会	庭野
企業と大学の交流会		埼玉県	杉村
施設内虐待防止研修⑦		あやめ寮	全職員グループ別
全国地域生活定着支援センター協議会 関東・甲信越ブロック 研修会オンライン		全国地域生活定着支援センタ ー協議会	相談支援専門員
経営協 朗務管理セミナー③	12月	埼玉県社会福祉協議会	オンライン 全職員対象
経営協青年会 次世代経営塾③		埼玉経営協青年会	杉村
発達障害福祉協会 青年部会		埼玉県発達障害福祉協会	桑原・佐伯
採用力アップのポイント		埼玉県	杉村
全国青年会総務・DX推進委員会セミナー		全国経営協	杉村
経営協 朗務管理セミナー④		全国経営協	杉村
施設内感染症対策研修（厚労省委託）		厚生労働省委託事業	全職員対象
全国的障害福祉関係職員研究大会	日本知的障害者福祉協会	主任以上リーダー職	
強度行動障害支援者養成研修【実践】	埼玉県社会福祉協議会	八木・井形	
個人情報保護研修	埼玉県社会福祉協議会	オンライン 全職員対象	
BCPの作成のコツを学ぶ	埼玉県社会福祉協議会	オンライン 全職員対象	
人事考課研修	埼玉県社会福祉協議会	オンライン 全職員対象	
施設長・幹部職員研修会	全国手をつなぐ育成会連合会	オンライン 全職員対象	
強度行動障害支援者養成研修【実践】	2月	埼玉県社会福祉協議会	関根・庭野
経営協 朗務管理セミナー⑤		全国経営協	杉村
発障協青年部会		埼玉県社会福祉協議会	オンライン 全職員対象
経営協 オンライン座談会		埼玉県社会福祉協議会	オンライン 全職員対象
男性向け働き方見直し研修【埼玉県】		埼玉県	全職員対象
2年目職員フォローアップ研修		あやめ寮	2年目職員
経営協 朗務管理セミナー⑥		3月	全国経営協
人材育成に関する研修会（自立協WEB）	埼玉葛北サビ管連絡会		主任以上リーダー職
入職前スタート研修	あやめ寮		令和4年度入職職員
全社協 人事管理	全社協		杉村
全社協 経営管理	全社協		杉村
幸手市福祉避難所図上訓練	幸手市		柿沼隆・井形・桑原・佐伯
主な受講オンライン研修 Special Learning			

採用活動

昨年度に引き続き、平野の里として「リクナビ」を活用した新卒採用活動を継続的に取り組んでおり、リクナビシステムのなかで、「インターンシップ」「会社説明会」「体験実習」「面接」というプロセスを活用しながら、学生に対して職場の魅力や仕事内容を紹介している。リクナビだけではなく埼玉県社会福祉協議会の合同就職説明会への参加と埼玉県労働局主催のイベント参加を計画してきたが、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染の感染状況に翻弄されながら、オンラインとリアルの「ハイブリッド型」にて対応した。

母数が少ない分、お一人お一人に対して、丁寧に向き合うスタンスで対応を進めていくスタンスとなったが、コロナ禍で例年お邪魔している「学校訪問」の実施も難しく、メール等でご連絡を差し上げるにとどまっている。

職員数は充足している中で、敢えて先に繋がる活動に切り替え、採用活動よりもインターンシップ・お仕事体験に注力し、昨年よりさらにハイブリッド型のインターンシップ・お仕事体験を磨いている。

オンライン化による収穫として、他方かのエントリーが増加し、北は北海道から南は沖縄まで、幅広く学生さんとの接点が生まれたことは大きな収穫である。基本的には会える学生の全体数は減少傾向にある中で、接点を持つことが出来た学生の皆さんお一人お一人に対して丁寧に対応から、インターンシップ・お仕事体験のリクナビ評価も一定数を上回り、数値化されている中、大きな自信に繋がる評価が得られた。

また、年度後半に採用に繋がった形は、これまでの学校訪問や実習受入れなどの繋がりがきっかけとなったことから、これまでの活動の積み重ねの大切さを実感した。

さらに、リクルート HELPMANJAPAN 主催の千葉県障害者福祉協会の人材確保定着に関する研修会では人事部長が事例発表で登壇するなど、これまでの蓄積を整理し、さらに前に向かう機会を得られ、さらに魅力溢れる事業所づくりへと繋げ、活気あふれる職場へと前進して行きたいと思うところである。

ハイブリッド型の対応にまだまだ課題もあるが、仕事の魅力を内外に伝え、しっかりとイノベーションを興していきたいと思う。

以降に示すデータは、会社説明会を実施した際に毎回協力いただいているアンケート結果を集計したものである。サンプル数は決して多いとは言えず、また、昨年度の数値も含めながら傾向を紹介することとしたが、学生には説明会や職場体験を通じて、福祉現場の魅力を伝える良い機会となっていることはデータからも読み取れる。
※学校との連携から、令和3年度には十文字学園女子大学の「学内実習」という形でオンラインでの実習講義（1日間）を実施し、昨年度に続き、新たな可能性が感じられる年度となった。

令和3年度主な実績（※介護等体験実習は参考数値）

	インターンシップ		採用会社 説明会	介護等体験実習
	リアル（延）	WEB		
男性	2（6）	1	3	3
女性	10（20）	13	5	1
合計	26 延 40（昨年 26）		8（昨年 6）	4（昨年 2）

・インターンシップ実績 2022-2023 前年比 予約者数 115%・延べ日数 110%

【参加者の在籍大学】東京未来大・立正大・東京国際大・青山学院大・嘉悦大・千葉大・大妻女子大・文教大・十文字学園女子大・京都外語大・浦和大・椋山女学園大・日本大・城西大・ウェズリアン大・埼玉県立大・日本大・城西大・沖縄大・文教大・大正大・目白大・聖学院大）

2023 インターンシップ 累計 27名予約参加 ・ 延べ日数 40日
（対面 12名（延べ 34日）WEB：14名）

2022 インターンシップ 累計 23名予約参加 ・ 延べ日数 36日
（対面 11名（延べ 26日）WEB：15名）

2021 インターンシップ 累計 10名予約参加 ・ 延べ日数 16日

2020 インターンシップ 累計 16名予約参加 ・ 延べ日数 24日

2019 インターンシップ 累計 8名予約参加 ・ 延べ日数 8日

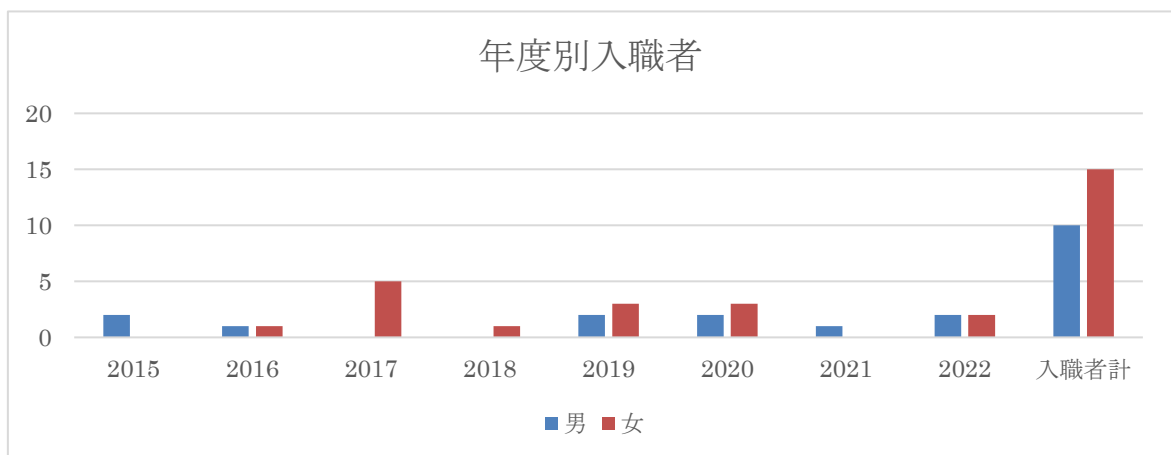
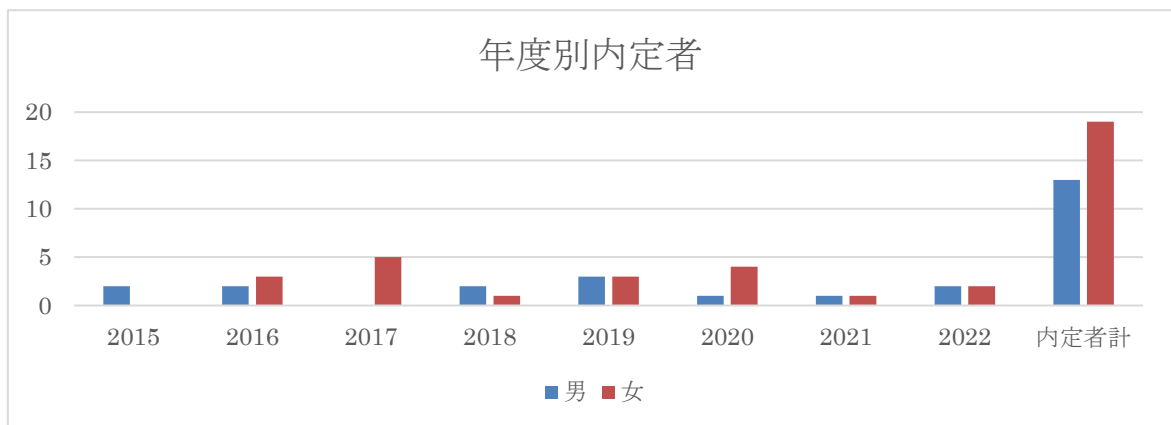
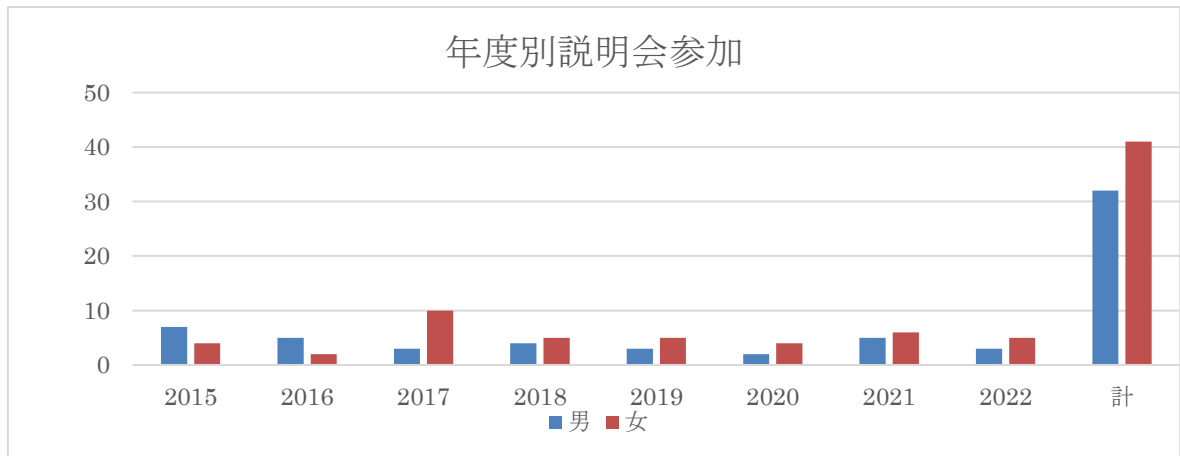
リクナビ2023プレサイト インターンシップ・お仕事体験企業評価
（社会福祉法人平野の里）

リクナビインターンシップ・お仕事体験評価 4.70

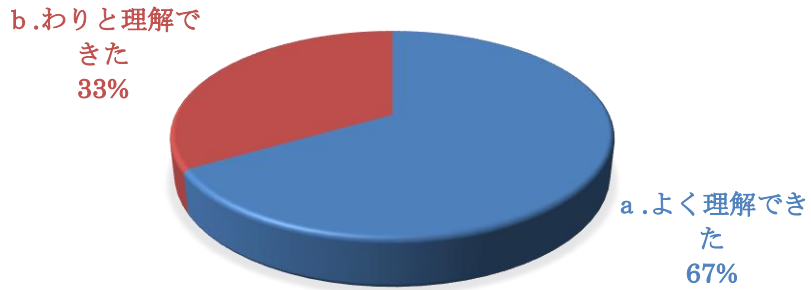
「4.70」という総合評価、人事とのやり取りが最高得点で4.91ということで、本当にありがたい限りです。評価4.50以上の医療福祉で調べて頂くと、全国で18社しかヒットせず、その中に私共が入っているという状況で、身の引き締まる思いです。



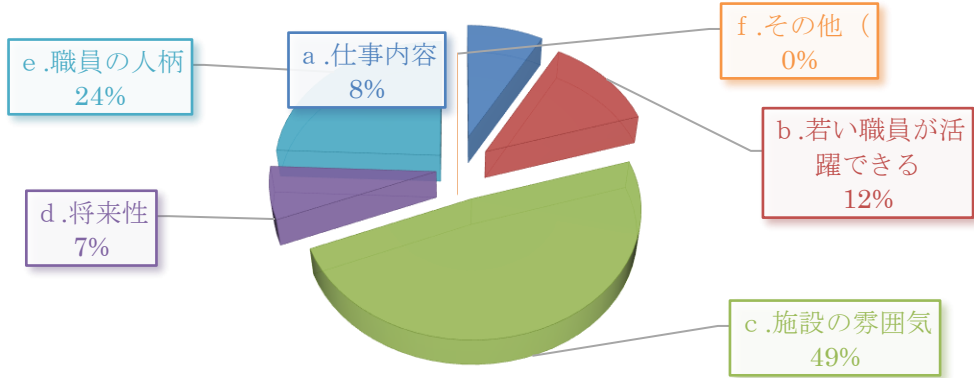
会社説明会実施後のアンケート結果



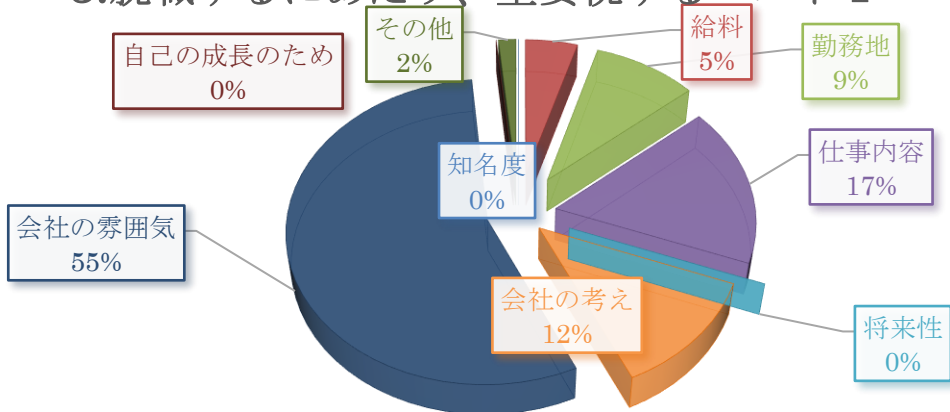
当法人についてどの程度ご理解
いただきましたか？



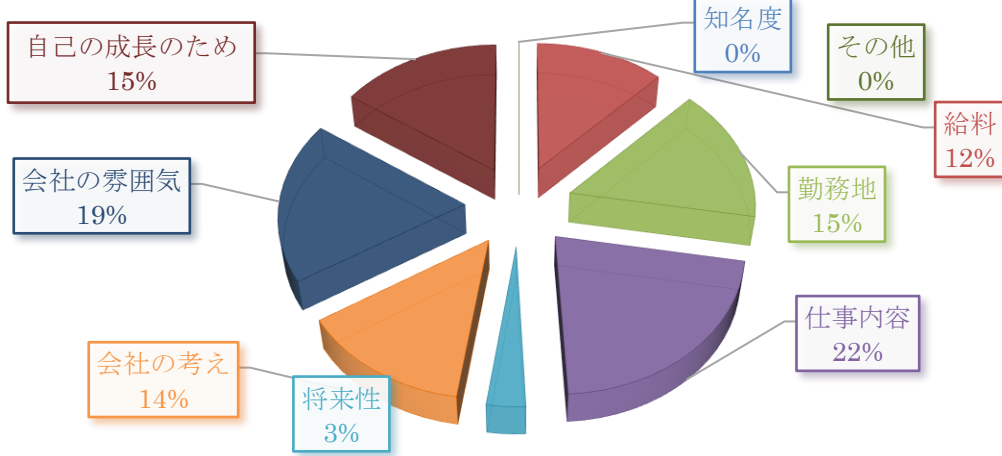
一番魅力を感じたのは何ですか？



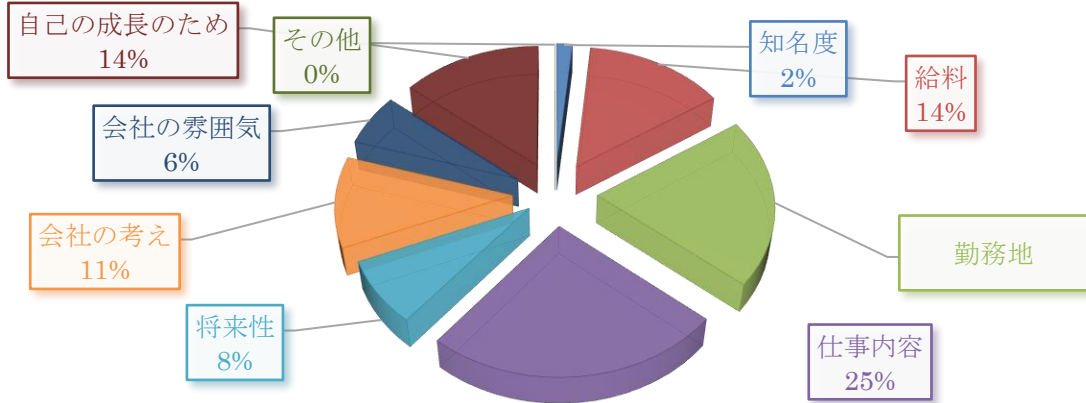
3. 就職するにあたり、重要視するベスト1



就職するにあたり重要視するベスト2

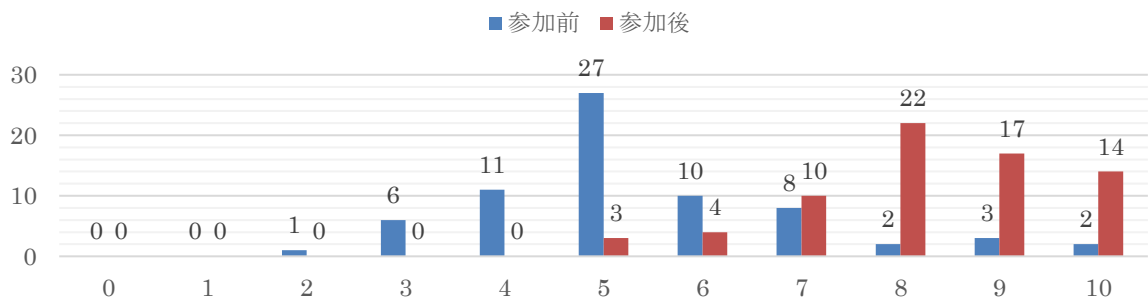


就職するにあたり重要視するベスト3



4. 法人説明会の参加前と後で当法人への興味（志望度）はどうなりましたか？

興味・志望度推移



相談会イベント

2021年9月2日

埼玉県主催「新卒者等合同企業面接会」

記名	1	採用	0
----	---	----	---